

熊本県院内がん登録データに係る統計 - 2016年診断症例 -

医療機関名	 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	--

○基本情報

【平成28年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5
病床数	550床
診療科数	33科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	12.7 (日)
入院患者数	14,449 (人)
外来患者延数	154,486 (人)
院内がん登録件数	1,949 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2016年診断症例の院内がん登録件数は1949件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く378件、ついで子宮258件、大腸(結腸・直腸)241件であった。

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性:①悪性血液疾患 206件 65.5歳 ②大腸(結腸・直腸)134件 71.1歳
女性:①子宮 258件 53.3歳 ②悪性血液疾患 172件 68.9歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

1)「悪性血液疾患」県下唯一の日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。また、小児の骨髄移植も実践している。
2)「子宮」過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)「大腸」症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。

【熊本医療センターの特徴・役割】

精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。また、2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図り、より多くの患者様への相談支援体制が整った。

診断年別登録件数
(参考)

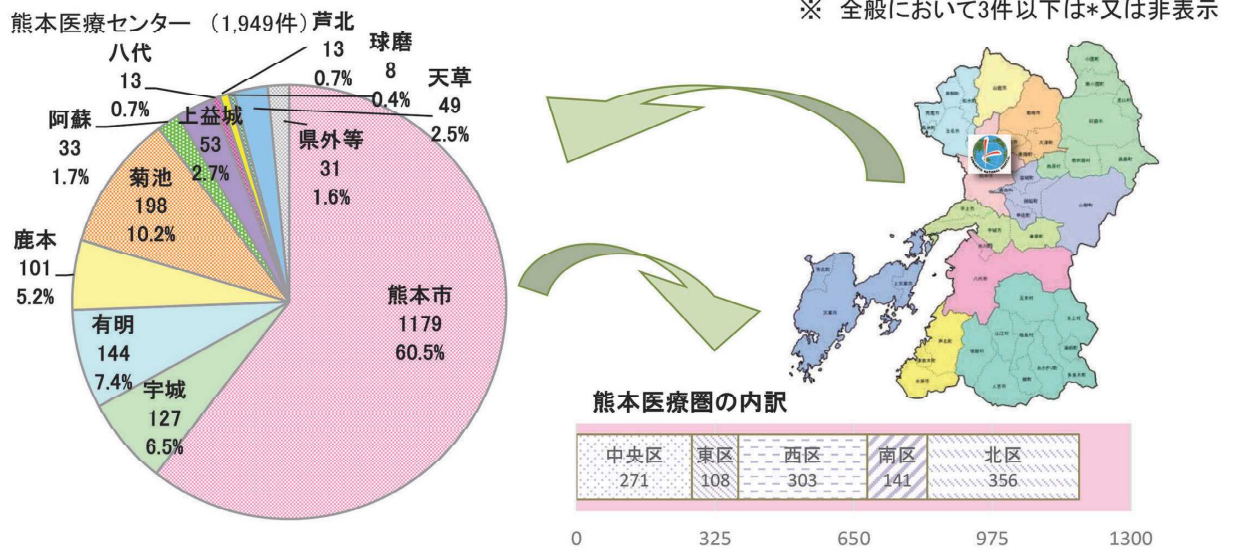


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2016年診断症例)

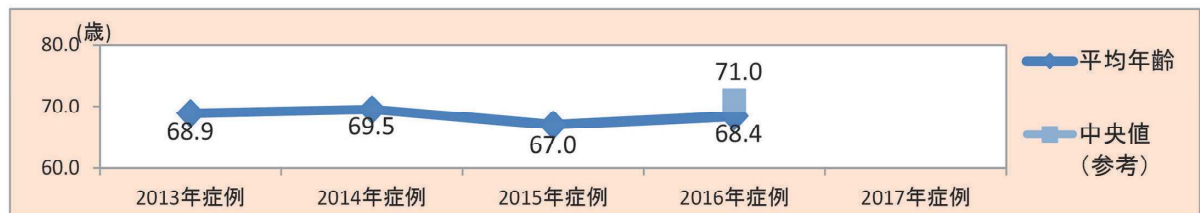


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	悪性血液	190	熊本	悪性血液	18	上益城	その他	10	球磨	悪性血液	5
	大腸	181		その他	15		子宮	9			
	子宮	140		子宮	12		悪性血液	9			
	その他	128		大腸	11		大腸	5			
	乳房	106		前立腺	8						
宇城	悪性血液	33	菊池	悪性血液	53	八代	複数部位	*	天草	悪性血液	14
	その他	19		子宮	34					子宮	10
	子宮	17		その他	21					皮膚	8
	皮膚	15		前立腺	18					その他	5
	大腸	11		複数部位	各15					膀胱	4
有明	悪性血液	30	阿蘇	悪性血液	10	芦北	悪性血液	4	県外等	悪性血液	9
	皮膚	25		子宮	5					子宮	6
	子宮	22		膀胱	4					その他	5
	その他	13		その他	4						
	複数部位	各10									

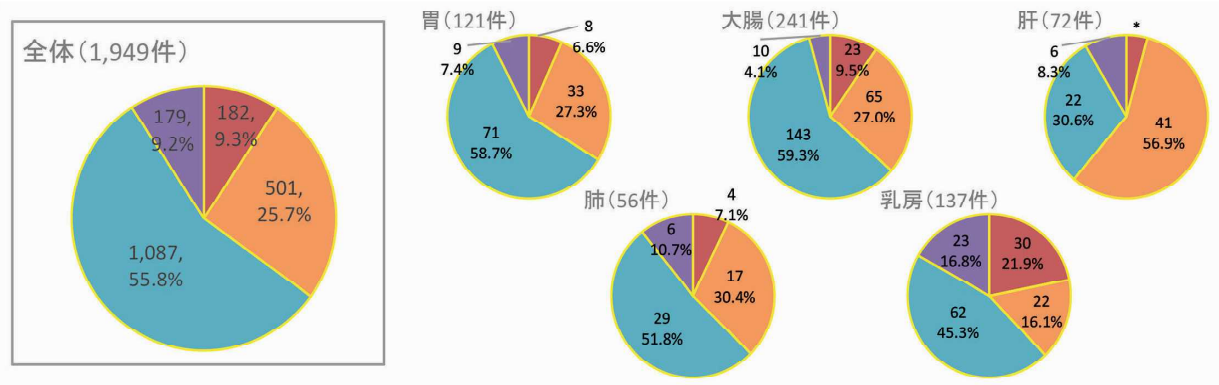
※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合は、複数部位として集計

② 平均年齢と年次比較

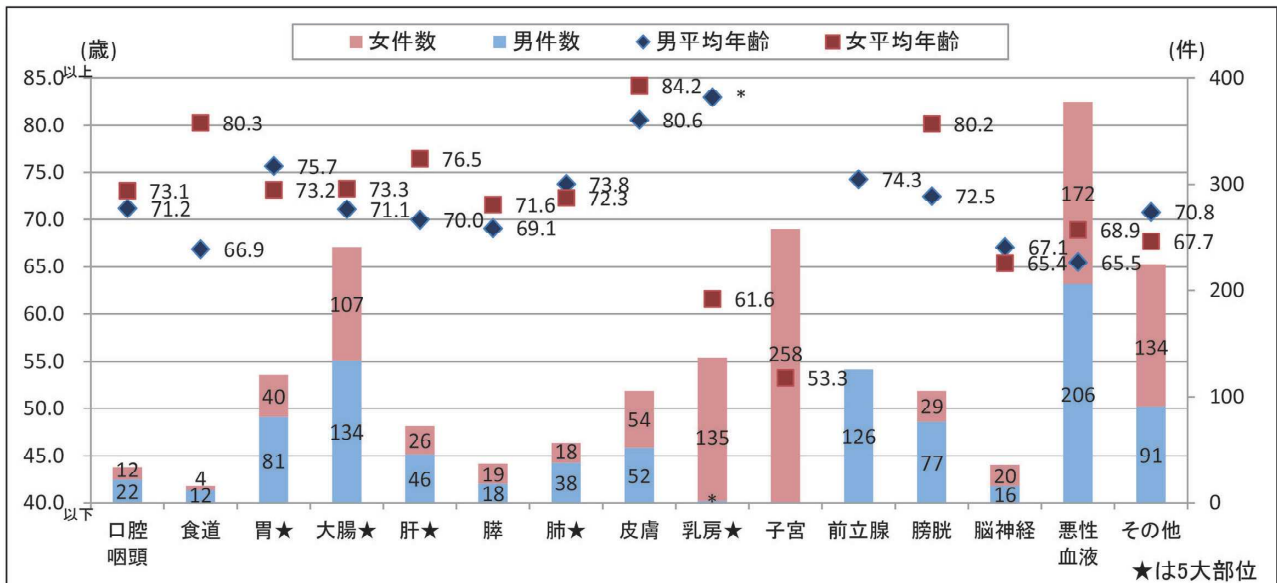


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 2他疾患経過観察 ■ 3剖検(Ai含) ■ 4その他(自ら受診含) ■ 5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

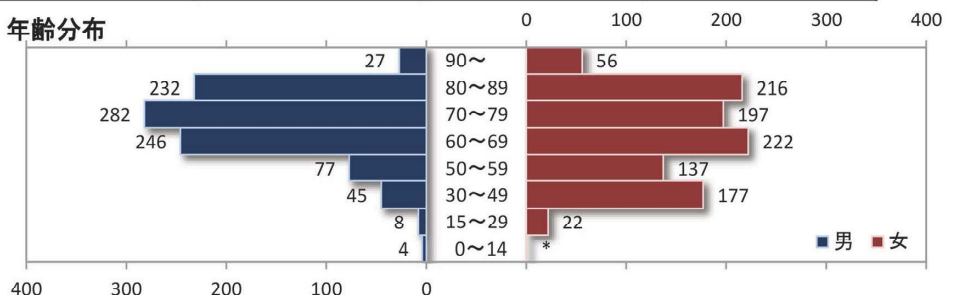


男性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳	
悪性血液	206	悪性血液 4	悪性血液 5	悪性血液 23	悪性血液 25
大腸	134		など	その他 7	大腸 14
前立腺	126			大腸 5	肝 7
その他	91			など	など
胃	81				
膀胱	77				
皮膚	52	計 4	計 8	計 45	計 77
肝	46				
肺	38	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
口腔咽頭	22	悪性血液 64	前立腺 53	悪性血液 48	皮膚 8
脾	18	大腸 39	大腸 42	大腸 32	胃 4
脳神経	16	前立腺 31	悪性血液 36	前立腺 32	前立腺 4
食道	12	膀胱 21	胃 34	胃 24	など
乳房	*	その他 21	その他 30	など	など
子宮		など	など		
計	921	計 246	計 282	計 232	計 27



女性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳	
子宮	258	複数部位 *	子宮 13	子宮 107	子宮 36
悪性血液	172		など	乳房 30	悪性血液 30
乳房	135			悪性血液 14	乳房 27
その他	134			その他 11	その他 26
大腸	107			胃 5	大腸 9
皮膚	54			など	など
胃	40	計 *	計 22	計 177	計 137
膀胱	29				
肝	26	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
脳神経	20	子宮 59	悪性血液 31	悪性血液 53	皮膚 16
脾	19	乳房 41	その他 28	大腸 32	悪性血液 9
肺	18	大腸 31	乳房 25	その他 30	大腸 8
口腔咽頭	12	悪性血液 31	子宮 24	皮膚 26	膀胱 6
食道	4	その他 31	大腸 23	など	など
前立腺		など	など		
計	1,028	計 222	計 197	計 216	計 56

年齢分布



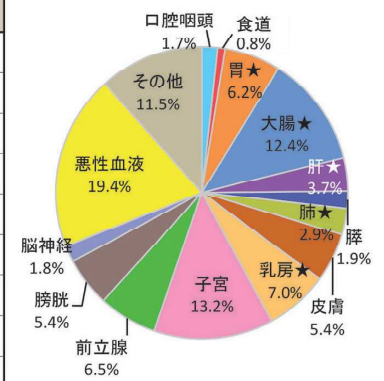
Ⅱ 施設別統計

熊本医療センター

⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		26	37	34	
食道		24	16	16	
胃★	111	108	101	121	
大腸★	201	202	190	241	
肝★	48	48	54	72	
膵		44	52	37	
肺★	90	56	54	56	
皮膚		77	85	106	
乳房★	86	112	104	137	
子宮	162	154	270	258	
前立腺	110	121	135	126	
膀胱		75	91	106	
脳神経	25	22	26	36	
悪性血液疾患	313	262	301	378	
その他	431	240	222	225	
計	1,577	1,571	1,738	1,949	

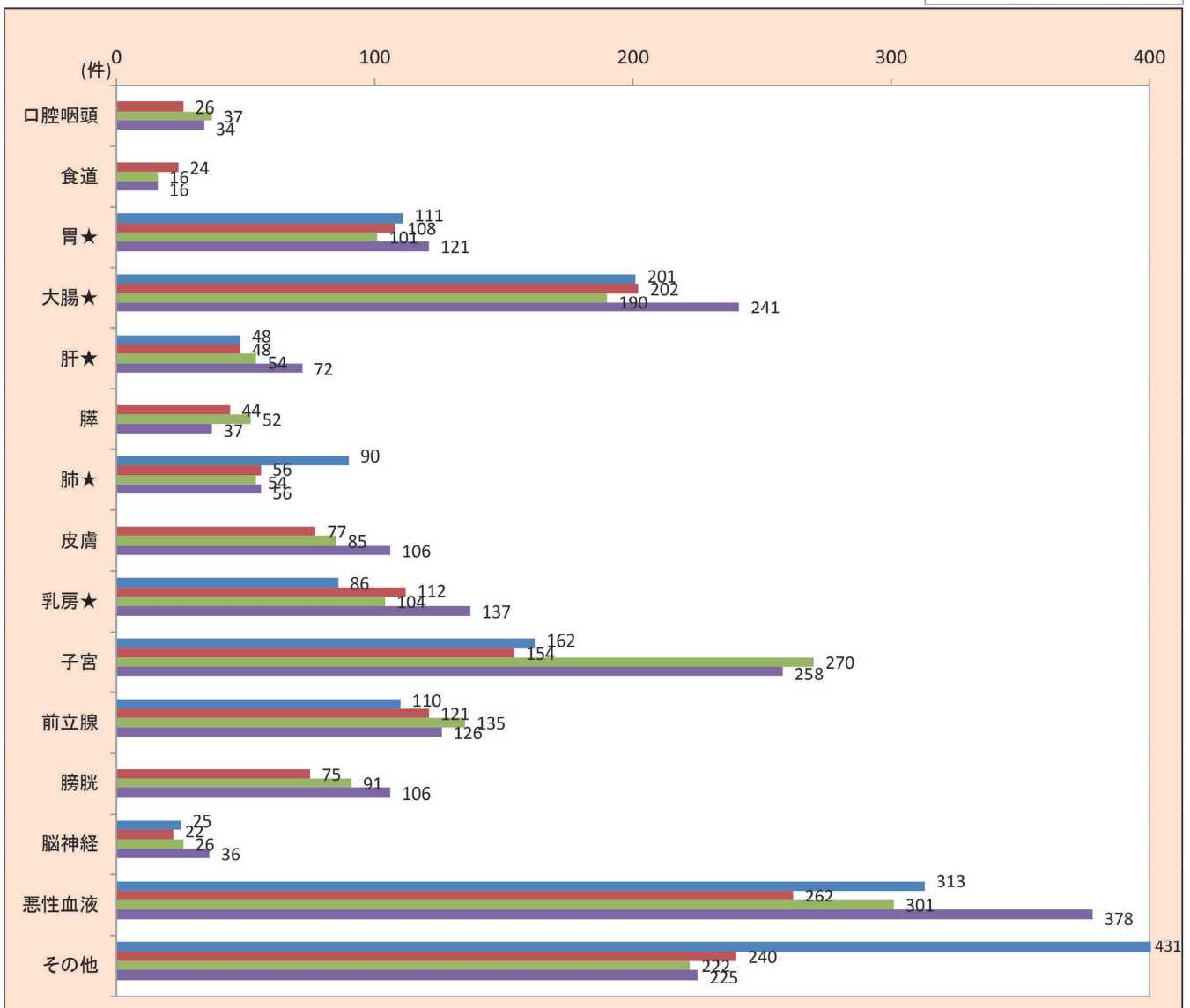
2016年診断症例 主要部位別割合



※大腸は結腸と直腸

※子宮は子宮頸部と体部

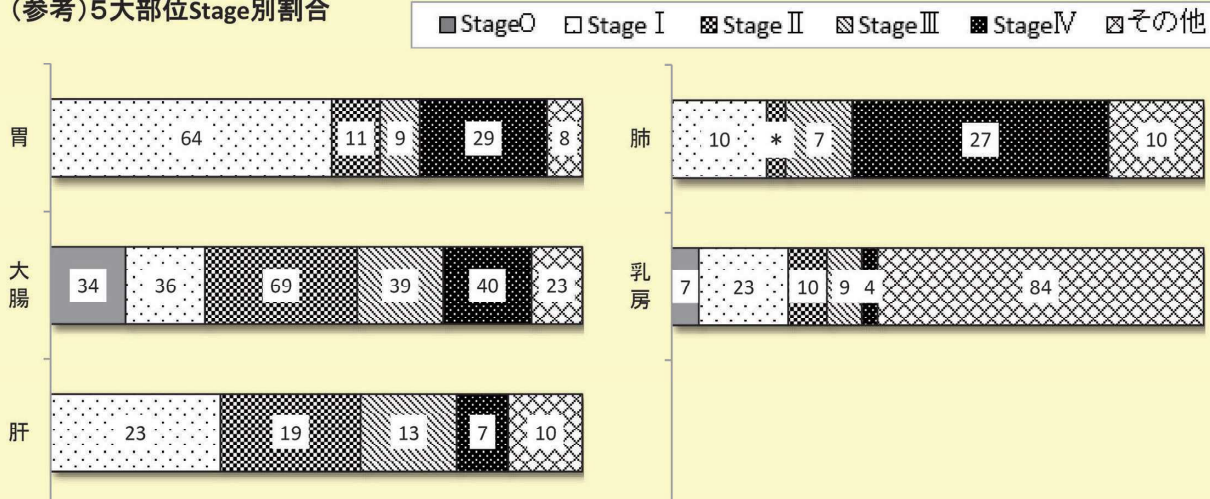
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



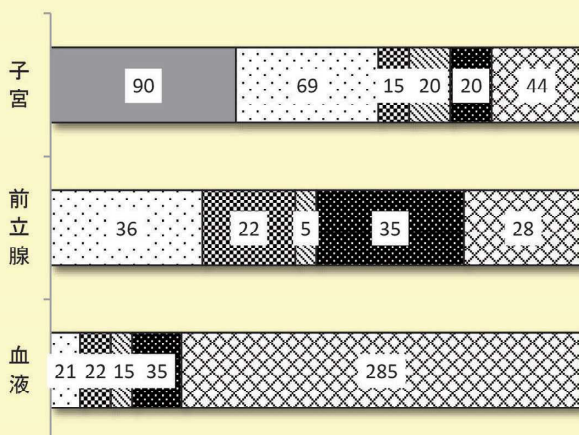
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	34	*	9	6	*	10	4
食道	16	*	*	*	4	*	4
胃★	121		64	11	9	29	8
大腸★	241	34	36	69	39	40	23
肝★	72		23	19	13	7	10
膵	37		5	9		20	*
肺★	56		10	*	7	27	10
皮膚	106	16	69	8	*		12
乳房★	137	7	23	10	9	4	84
子宮	258	90	69	15	20	20	44
前立腺	126		36	22	5	35	28
膀胱	106	35	7	12	9	12	31
脳神経	36						36
悪性血液疾患	378		21	22	15	35	285
その他	225	7	57	14	23	37	87
計	1,949	193	432	222	156	277	669

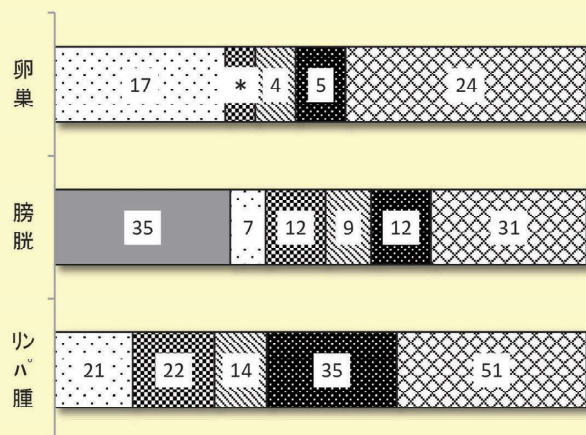
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



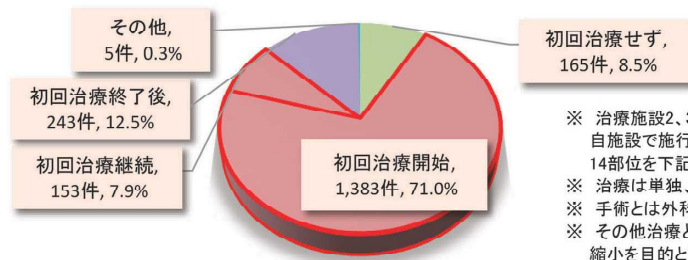
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

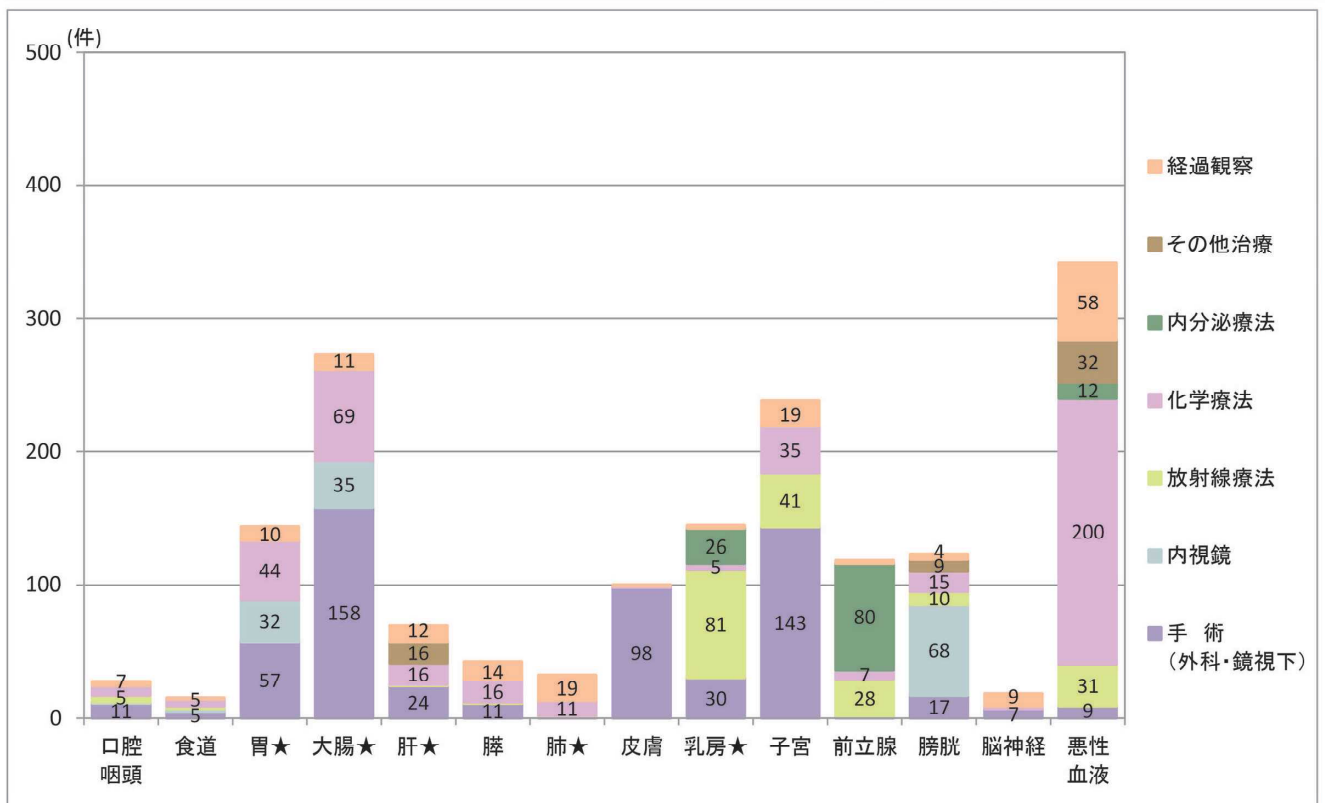
治療施設	件数
1初回治療せず	165
2初回治療開始	1,383
3初回治療継続	153
4初回治療終了後	243
8その他	5
計	1,949



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・手術 鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	11	*	5	7			*	27	91.7%	8.3%	0.0%
食道	5	*	*	5			*	15	85.7%	14.3%	0.0%
胃★	57	32		44			10	143	82.1%	8.3%	9.5%
大腸★	158	35		69			11	273	86.9%	7.9%	5.2%
肝★	24		*	16		16	12	69	70.8%	8.3%	20.8%
膵	11		*	16			14	42	81.8%	0.0%	18.2%
肺★	*		*	11			19	32	0.0%	100.0%	0.0%
皮膚	98			*			*	100	96.9%	2.0%	1.0%
乳房★	30		81	5	26		*	144	20.0%	0.0%	80.0%
子宮	143		41	35			19	238	95.1%	3.5%	1.4%
前立腺	*		28	7	80		*	118	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	17	68	10	15		9	4	123	50.6%	49.4%	0.0%
脳神経	7			*			9	18	14.3%	71.4%	14.3%
悪性血液疾患	9		31	200	12	32	58	342	11.1%	11.1%	77.8%
計	572	138	201	433	118	57	165	1,684			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

- 手術
- 化学療法
- 内視鏡
- 内分泌療法
- 放射線療法
- その他治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複效に問わず各々集算
 ※ 分類はJCO7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

